

文京区地震防災マップ 〔揺れやすさマップ〕

地震防災マップについて

文京区地震防災マップは、「首都直下地震等による東京の被害想定」(東京都、令和4年5月25日公表)における都心南部直下地震(品川区と大田区の境界付近を震源地とするマグニチュード7.3の地震)が発生した場合の、文京区内の「揺れやすさマップ」と「建物倒壊危険度マップ」を作成したものです。

本マップは都心南部直下地震を想定したものであり、震源や地震の規模の違いにより、実際の震度や被害とは異なることがありますのでご注意ください。

南関東地域で30年以内にマグニチュード7クラスの大規模地震が発生する確率は、70%とされています。

日頃から防災意識を高めていただき、建物の耐震化や家具の転倒防止対策など、地震への備えにお役立てください。

令和8年3月 文京区

揺れやすさマップについて

「揺れやすさマップ」は、都心南部直下地震(マグニチュード7.3)が発生した場合の地面の揺れの強さ(震度階級)を50mメッシュごとに3段階で表したものです。(相対評価による揺れやすさではなく、特定の想定地震が発生した場合の震度分布を示しています。)

凡例(震度階級)

| | | | |
|------|---------------|------------|------------|
| | 弱 ← 揺れの強さ → 強 | | |
| | 震度5強 | 震度6弱 | 震度6強 |
| 震度階級 | 区内該当なし | 区内該当なし | 区内該当なし |
| 計測震度 | 5.4~5.6 未滿 | 5.6~5.8 未滿 | 5.8~6.0 未滿 |
| | | 6.0~6.2 未滿 | 6.2 以上 |

その他凡例

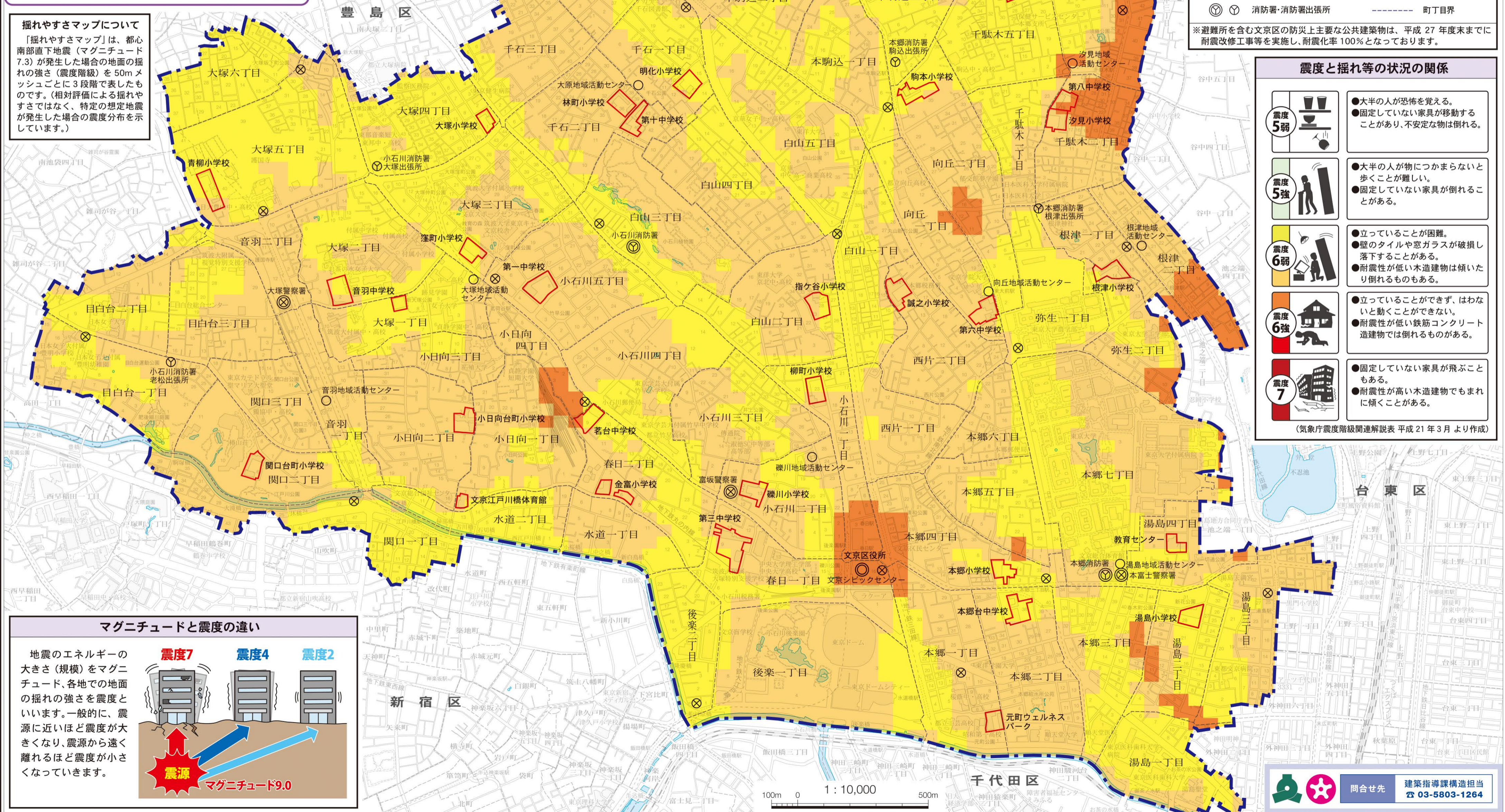
| | |
|---------------|--------|
| 避難所(区立小・中学校等) | 警察署・交番 |
| 区役所・地域活動センター | 区境 |
| 消防署・消防署出張所 | 町丁目界 |

※避難所を含む文京区の防災上主要な公共建築物は、平成27年度末までに耐震改修工事を実施し、耐震化率100%となっております。

震度と揺れ等の状況の関係

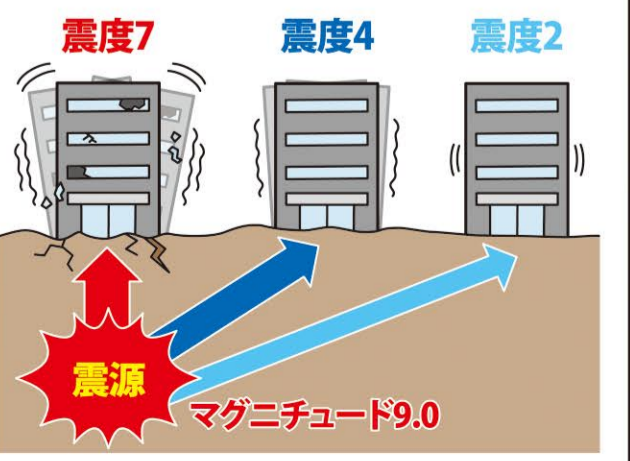
| | |
|------|--|
| 震度5弱 | ●大半の人が恐怖を感じる。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れる。 |
| 震度5強 | ●大半の人が物がつかまらなると歩くことが難しい。 ●固定していない家具が倒れることがある。 |
| 震度6弱 | ●立っていることが困難。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損し落下することがある。 ●耐震性が低い木造建物は傾いたり倒れるものもある。 |
| 震度6強 | ●立っていることができず、はわないと動くことができない。 ●耐震性が低い鉄筋コンクリート建造物では倒れるものがある。 |
| 震度7 | ●固定していない家具が飛ぶこともある。 ●耐震性が高い木造建物でもまれに傾くことがある。 |

(気象庁震度階級関連解説表 平成21年3月より作成)



マグニチュードと震度の違い

地震のエネルギーの大きさ(規模)をマグニチュード、各地での地面の揺れの強さを震度といいます。一般的に、震源に近いほど震度が大きくなり、震源から遠く離れるほど震度が小さくなっていきます。



問合せ先 **建築指導課構造担当**
☎ 03-5803-1264